



実力テスト&面接実施

第3回実力テストを行いました。塾生たちは、「始め」の合図とともに一斉にペンを走らせ、真剣に取り組んでいました。



最近の入試や学校のテストは、2020年に行われる教育改革の影響もあり、記述問題が多く出される傾向にあります。

しかし、基礎力がなければ、記述問題にも対応できません。

成績が向上した学生や点に結びつく一歩手前まで来ている学生の特徴の一つに、基礎力を重視した学習をしていることがあげられます。

まずは基礎力、これが大事です。※2020年教育改革…自ら考えて問題解決できる能力を身につけることを目標にした教育改革。

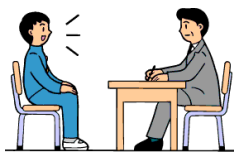
テストと同時期に、高校1・2年生を対象とした二者(希望者は保護者も入れた三者)面接を実施しました。

「夢面接」と題して、生徒に将来の夢や就きたい仕事について話をしてもらい、その実現に向けてどのような進路選択をしたら良いか、またその心構えや具体策をアドバイスしました。

面接に来た学生たちは、何かを感じ取ったようで、明るい笑顔で帰っていききました。

「若さ」というかけがえない財産を持つ高校生たち。

失敗を恐れずいろんなことに挑戦し、成長していったほしいです。



芸術の秋、文化祭の秋

塾で指導をするうえで大切にしていることは、学生それぞれの特長を知る事です。文化祭の見学は学生の多面性を知る良い機会です。

今年も松進の先生たちは、各中学校の文化祭を見学してきました。

毎年のことながら、生徒達の絵や書道、社会科新聞や工作などの力作にはビックリの連続!

「おつ、すごい。〇〇さん、うまいな〜!」

「△△君らしい作品だね。きつとこだわったんだろうな」と、時間の経つのも忘れてつい長居をしてしまいました。

作品を見ていると

新しい発見があったり、感激があったり。その連続でした。



力作ぞろい!

期末テスト・入試対策

2学期中間テストが終了したのも束の間、今度は期末テストです。

新しく習ったことをしっかりと理解し、学力に変えていくためには、日々の積み重ねが大事です。

そこで松進では10月下旬に「学力アップテスト学習会」を実施しました。

みんな緊張感をもって頑張っていました。

一方で小学生は、日本独自の単位(寸、尺、間他)や欧米の単位(インチ、ヤード他)について学んだり、調べる学習を行いました。



がんばるぞ!

みんな楽しくやっています。

11月5日からは、松進に通っていない学生も参加する中、

「ここがデル!」期末テスト学習会」を中学生と高校生に実施。

出題傾向が高い問題や新傾向の問題について指導しました。

期末テストは高校受験生にとって進路を決める大事なテストの一つ。みんな一生懸命にがんばっていました。



傾向を知れば危うか?

秋が深まり、いよいよ受験の足音が聞こえてきました。

センター試験まで残り2か月、高校入試後期試験までは残り3か月半。受験生たちには、時間を最大限使って頑張ってもらいたいです。

昨今の入試では、記述問題が多く出題されています。

「記述式」というと国語が連想されますが、近年では国語に限らずほぼ全ての教科で見られます。

自分の意見や感想を書かせる問題も出されていますが、松進では新聞を教材に、そのような問題への対策を指導しています。

高校生が苦手にしている小論文には、ゲリラ講座「小論文の書き方」を実施し、対策を行っています。



まつしのしゅんしゅ

松進恒例の「研修&リフレッシュ旅行」で、今年も静岡県に行ってきました。

今回の旅行は車移動だったので、運転手は疲れたと思います。

しばらく車を走らせていると道の駅を発見。

休憩中、三松先生がソフトクリームを食べ歩いていました。腰に手を当てて牛乳を飲むのは定番ですが、

富士宮市にある有名な白系の滝に到着。

「どっへー!」と一回絶叫。

誰も聞いていないけど、解説を始める三松先生。

「ゴホ〜ン! えっと、ちょっと大槻先生! 聞いてますよね。白系の滝ですけど、富士山の爆発で、溶岩が地層を作りますよね。」

「あ、金魚も〜!」

「いるわけねーだろ!」

「あ、ピラニアだ〜!」

「いね〜ちゅ〜の!」

「お土産に悩みながらお店をウロウロする先生たち。」

「あ、ウナギパイ! 静岡はウナギパイ!」

「あ! 珍しい駄菓子がある!」

「あ! 珍しい駄菓子がある!」



果。(爆)

「ア!? 変だなく〜!」

「そう! おたくも変! (笑)」

と藤河先生。次に訪問したのは、富士山世界遺産センター。

「富士山は今までに何度も噴火を繰り返しています!」

熱心にボランティアのおじいちゃん案内に聞き入る先生たち。

ところが話し始め延々30分の力説にみんなグッタリ。

センターを後にしてカツオの水揚げ量日本一の焼津に到着。

翌日は名所の焼津さかなセンターへ。

「お! アジの開き! あ! マグロ〜! あ、金魚も〜!」

「いるわけねーだろ!」

「あ、ピラニアだ〜!」

「いね〜ちゅ〜の!」

「お土産に悩みながらお店をウロウロする先生たち。」

「あ、ウナギパイ! 静岡はウナギパイ!」

「あ! 珍しい駄菓子がある!」



のっぽパンだよ